

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	ビジネス講座		担当教員	吉田 稔	クラス	高度情報処理科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	1

授業概要	このビジネス講座の目的は、ビジネスの基本的な知識、社会人としてのマナーなどを学ぶことです。また人財育成の課題である、問題力発見、提案力、発言力など仕事に必要な内容も学びます。具体的には8つの意識(顧客、品質、納期、時間、目標他、)を中心に個人またはチームで働くマインドを身に着けます。目標値として社会人に必要な能力を評価するビジネス検定3級(2級)全体合格率90%以上を目指します。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	0 %	他	30 %
教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級 公式テキスト			副教材および 参考文献		プリント、過去問、用語問題	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ビジネスとコミュニケーションの基本 ①	受験申込記入。キャリアと仕事のアプローチ
第2回	ビジネスとコミュニケーションの基本 ②	仕事の基本となる8つの意識,コミュニケーションと ビジネスマナーの基本
第3回	ビジネスとコミュニケーションの基本 ③	指示の受け方と報告、連絡、相談。話し方と聞き方のポイント
第4回	ビジネスとコミュニケーションの基本 ④	来客応対と訪問の基本マナー。会社関係の付き合い方
第5回	ビジネスとコミュニケーションの基本 ⑤	仕事への取り組み方
第6回	仕事の実践とビジネスツール①	ビジネス文書の基本と電話対応
第7回	仕事の実践とビジネスツール②	データの読み方、情報収集、会社を取り巻く環境と経済の基本
第8回	B検定模試試験①	B検定模試試験3級1回目
第9回	B検定模試試験②	B検定模試試験3級2回目
第10回	B検定試験解説	試験内容の解説
第11回	就職対策準備①	業界の職種と就職状況について
第12回	就職対策準備②	業界の職種と求人票の見方他
第13回	就職対策準備③	自己分析、自己PRについて
第14回	就職対策準備④	年金の説明(幕張年金事務所)
第15回	期末試験	期末試験の実施
第16回	期末試験:振返り	期末試験:解答/解説

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	C言語検定		担当教員	竹野谷 義彰	クラス	高度情報処理科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	<p>・ この科目は、情報処理技術試験およびサーティファイC言語の共通学習分野として位置付け、</p> <p>① C言語の歴史と特徴、 ② 環境とコンパイル、 ③ フォーマットとエラーメッセージ、 ④ 変数と演算子、 ⑤ 配列と文字列、 ⑥ 制御分(ループ文、IF文、スイッチ文、) について、演習前の座学として理解し、基本的プログラミングが可能となる様、学習する。</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	・「入門 C言語」： 実教出版			副教材および参考文献		・確認テスト / 過去問題	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	第1章 Cプログラミング概要	・科目ガイダンス、 1. 1~2 歴史と特徴
第2回	第2章 データ型	2. 1 データの型の種類と宣言
第3回	同 : 演算子	2. 3 演算子の種類と内容、インクリメント/デクリメント
第4回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第20回
第5回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第29回
第6回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第26回
第7回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第29回
第8回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第32回
第9回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第35回
第10回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第38回
第11回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第41回
第12回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第44回
第13回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第48回
第14回	・模擬試験	・サーティファイ3級:第52回
第15回	・期末試験	・期末試験の実施
第16回	・期末試験の振返り	・期末試験の解答/解説

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	オブジェクト指向設計	担当教員	小野健裕	クラス	高度情報処理科2年		
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目は、目に見えない「ソフトウェア」を開発する際に、ソフトウェアや運用の流れを図(オブジェクト)で表現することを目的とする。「処理」や「運用の流れ」「手順」など、複雑でわかりにくい対象を、「図」で視覚的にモデリングする手法を身に付けさせる。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	%	他	20 %
教科書	UMLモデリングレッスン			副教材および参考文献		UMLモデリング技能認定試験問題	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目のガイダンス、導入	自己紹介、授業の進め方、第2章 集合の整理する
第2回	UMLの基本	第3章 UMLを分類して整理する
第3回	UMLの基本	第4章 種類とモノに分けて整理する
第4回	概念モデリングの基本	第5章 分割・統合して整理する
第5回	概念モデリングの応用	第6章 ビジネス活動を記録する
第6回	UMLの使い方	第7章 一連のビジネス活動を記録する
第7回	概念モデリングのコツを理解する	第8章 永続的な関係を表現する
第8回	UMLパターンを理解する	第9章 複雑な構造を表現する
第9回	UMLパターンの使い分け	第10章 将来の仕様変更に備える
第10回	UMLパターンの特徴について	第11章 現在・過去・未来を表現する
第11回	UMLパターンの特徴について	第12章 パターンを使って概念モデルを組み上げる
第12回	ERモデリングの基本	第13章 ERモデリングレッスン
第13回	ERモデリングとUMLモデリングの違い	第14章、第15章 UMLでロジカル・シンキングなど
第14回	期末試験対策	総まとめ
第15回	期末試験	期末試験の実施
第16回	期末試験のおさらい	期末試験の復習

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	リスク管理と監査	担当教員	小野 健裕	クラス	高度情報処理科2年		
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	情報システムへの攻撃が日々増大しているため、情報保証と情報セキュリティ(IAS)がIT分野での最重要課題となっている。「情報保証と情報セキュリティ」では、情報セキュリティの仕組み、情報セキュリティサービス、ネットワークセキュリティ、ソフトウェアセキュリティ、脆弱性などについて学ぶ。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	%	他	20 %
教科書	オリジナル教材			副教材および参考文献			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	情報セキュリティの脅威①	なりすまし、改ざん
第2回	情報セキュリティの脅威②	クラッキング、ビジネスメール詐欺(BEC)
第3回	情報セキュリティの脅威③	誤操作、紛失、破損、盗み見
第4回	情報セキュリティの脅威④	不正利用、ソーシャルエンジニアリング
第5回	情報セキュリティの脅威⑤	サイバー攻撃、情報漏えい、故意
第6回	情報セキュリティの脅威⑥	過失、内部不正
第7回	情報セキュリティの脅威⑦	妨害行為、風評、炎上
第8回	情報セキュリティの脅威⑧	SNS の悪用、SPAM(迷惑メール)
第9回	セキュリティ技術①	Web システムのセキュリティ対策
第10回	セキュリティ技術②	セキュリティバイデザイン
第11回	セキュリティ技術③	プライバシーバイデザイン
第12回	セキュリティ技術④	セキュアプログラミング
第13回	セキュリティ技術⑤	バッファオーバーフロー対策
第14回	セキュリティ技術⑥	クロスサイトスクリプティング対策
第15回	セキュリティ技術⑦	SQL インジェクション対策
第16回	期末テスト	期末テスト実施

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	情報処理試験対策講座		担当教員	佐藤 智	クラス	高度情報処理科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	10月18日に実施される基本情報処理試験合格を目指し、主に過去問の演習と解説を行い、合格に近づける。 基本情報の資格取得者は応用情報対策とし、資格未取得者は基本情報対策とする。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	%	他	20 %
教科書	基本情報技術者午前問題集			副教材および参考文献	基本情報技術者試験過去問題 応用情報技術者試験過去問題		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ハードウェア	過去問演習 ハードウェア
第2回	情報処理システム	過去問演習 情報処理システム
第3回	ソフトウェア	過去問演習 ソフトウェア
第4回	データベース	過去問演習 データベース
第5回	ネットワーク	過去問演習 ネットワーク
第6回	セキュリティ	過去問演習 セキュリティ
第7回	データ構造とアルゴリズム	過去問演習 データ構造とアルゴリズム
第8回	ストラテジ	過去問演習 ストラテジ
第9回	開発技術	過去問演習 開発技術
第10回	マネジメント	過去問演習 マネジメント
第11回	試験形式での演習	過去問の試験形式での演習 1～30問
第12回	試験形式での演習	過去問の試験形式での演習 31～60問
第13回	試験形式での演習	過去問の試験形式での演習 61～80問
第14回	期末試験対策	総復習
第15回	期末試験	期末試験の実施
第16回	期末試験振り返り	期末試験の解説とおさらい

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	Java応用演習		担当教員	石濱 友裕	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	前期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	演習	単位数	2

授業概要	<p>この科目は、1年次にJavaプログラミングの基礎的知識を履修済みあることを前提とし、インフォテックサーブ提供のフレームワークを使用し、設計、プログラミングを行い、システム開発を行うものである。</p> <p>オブジェクト指向の考え方を理解、実際の現場でのシステム開発の擬似体験を行う。早く開発が終了したチームは「注文登録」及び「配達確認」の機能追加も考慮する。</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。課題とグループ発表で成績評価を行う。					
	評価割合	試験	0 %	課題	50 %	他	50 %
教科書	Javaシステム開発技法 Javaシステム開発演習			副教材および 参考文献	なし		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	Javaシステム開発概要	チーム分け、中間発表、最終発表などについて
第2回	DB連携	ExecuteSQL01.java, ExecuteSQL0201.java
第3回	更新系SQLの実行, DAO	ExecuteSQL0202.java, ExecuteSQL0203.java
第4回	オブジェクト指向	演習1-1~4-2
第5回	システム開発演習の概要	チーム作業開始 仕様書の確認
第6回	システム開発演習 前半①	プログラム確認
第7回	システム開発演習 前半②	シーケンス図作成 内部レビュー
第8回	システム開発演習 前半③	シーケンス図作成 外部レビュー完了
第9回	システム開発演習 前半④	クラス図作成 内部レビュー
第10回	システム開発演習 前半⑤	クラス図作成 外部レビュー完了
第11回	システム開発演習 前半⑥	結合テスト仕様書作成 内部レビュー
第12回	システム開発演習 前半⑦	結合テスト仕様書作成 外部レビュー完了
第13回	システム開発演習 前半⑧	コーディング作成
第14回	システム開発演習 前半⑨	コーディング作成 内部レビュー
第15回	システム開発演習 前半⑩	コーディング作成 外部レビュー
第16回	中間発表②	4チームの中間発表を行う

	講義計画	実施細目
第17回	システム開発演習 後半①	コーディング作成 内部レビュー
第18回	システム開発演習 後半②	コーディング作成 外部レビュー完了
第19回	システム開発演習 後半③	単体テスト仕様書作成 内部レビュー
第20回	システム開発演習 後半④	単体テスト仕様書作成 外部レビュー完了
第21回	システム開発演習 後半⑤	単体テスト用 ドライバ・スタブ作成
第22回	システム開発演習 後半⑥	単体テストの実施
第23回	システム開発演習 後半⑦	結合テスト用 ドライバ・スタブ作成
第24回	システム開発演習 後半⑧	結合テストの実施
第25回	システム開発演習 後半⑨	適格性確認テストの実施
第26回	システム開発演習 後半⑩	各ドキュメント・プログラムの最終確認
第27回	システム開発演習 後半⑪	最終レビューの実施
第28回	最終発表準備①	資料整理
第29回	最終発表準備②	プレゼン練習
第30回	最終発表	4チームの最終発表を行う。
第31回	最終発表 講評	発表内容についての講評
第32回	Java開発の最新動向	最新のJavaを使った開発手法についての講義

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	Javaフレームワーク		担当教員	渡部元樹	クラス	情報システム科_2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	JavaのフレームワークであるSpringFrameworkを主に扱う。 フレームワークの考え方や、使い方について知識を深める事、技術力を高める事を目的とし、 講義でのインプット、演習でのアウトプットを繰り返し行う。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。 ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	30 %	他	10 %
教科書	オリジナル教材			副教材および参考文献		オリジナル教材	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目ガイダンス、環境構築	科目ガイダンスと開発環境の構築を行う。
第2回	フォーム処理①	viewからのパラメータ取得について講義と演習
第3回	フォーム処理②	viewからのパラメータ取得について講義と演習
第4回	フォーム処理③	viewからのパラメータ取得について講義と演習
第5回	セッション管理	HttpSessionについて講義と演習
第6回	JPA①	JPAの概要説明及び基本的な使い方について講義と演習
第7回	JPA③	JPAを利用したCRUD処理について講義と演習
第8回	JPA④	外部参照関係にあるテーブルのデータ利用について講義と演習
第9回	JPQL①	JPQLの文法とアノテーションについて講義と演習
第10回	JPQL②	JPQLの文法とアノテーションについて講義と演習
第11回	JPA②	JPAを利用したCRUD処理について講義と演習
第12回	入力チェック	入力値の検証とエラーメッセージ出力について講義と演習
第13回	Thymeleaf①	HTMLテンプレートエンジンであるThymeleafについて講義と演習
第14回	Thymeleaf②	HTMLテンプレートエンジンであるThymeleafについて講義と演習
第15回	期末試験	期末試験を実施
第16回	期末試験振り返り	期末試験の解説



# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	C++演習		担当教員	石濱 友裕	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この科目は、C++を習得するに当たって、DXLibを使用し、当該環境下でアルゴリズムを向上させることを目指す。</li> <li>・DXLibを使用することで、卒業制作のテーマ選択の開発環境の幅を広げる。</li> <li>・C++から導入された「クラス」の概念、使い方を理解するため、講義・演習を行う</li> </ul>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	50 %	課題	30 %	他	20 %
教科書	・なし			副教材および参考文献		・副教材プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス①	授業概要説明/DXLibについて/環境構築
第2回	ガイダンス②	環境構築続き/サンプルプログラムの説明/ライブラリの説明
第3回	図形/画像表示	基礎図形の描画/変更、文字列の表示/変更
第4回	図形/画像移動処理	キー入力制御、ループ制御処理、画像移動
第5回	図形の衝突判定	図形どうしの衝突(交差)判定/衝突時の処理分岐
第6回	C++によるオブジェクト指向①	クラスとオブジェクト/メンバ関数/アクセス制御
第7回	C++によるオブジェクト指向②	コンストラクタ/new演算子/静的メンバ関数
第8回	プレイヤーの作成	プレイヤーキャラクターの生成/移動処理
第9回	弾の発射	弾の生成/移動処理/弾の消滅
第10回	敵の生成①	敵キャラクターの生成/移動処理
第11回	敵の生成②	敵キャラクターと弾の衝突判定/敵キャラクターの消滅
第12回	シューティングゲーム作成①	スコアの表示/ゲームオーバー画面遷移
第13回	C++によるオブジェクト指向③	クラスの継承/継承したメンバへのアクセス/多重継承
第14回	C++によるオブジェクト指向④	テンプレート関数/テンプレートクラス/演算子のオーバーロード
第15回	期末試験	期末試験の実施
第16回	期末テスト振り返り	期末テストの返却/問題の解説

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	C#演習		担当教員	本郷 英明	クラス	高度情報処理科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目は、Visual C# 開発に必要な知識を実践的に学習する。具体的には、Visual C# を使ってC#の開発に必要な操作及び言語文法について学習する。また、オブジェクト指向の基本的な概念を取り入れ、それを実践的に活用する方法について学習する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	10 %	他	10 %
教科書	猫でもわかる C#プログラミング			副教材および 参考文献		オリジナル課題	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	Visual C#の概要・ガイダンス	プログラミングの基礎、ツールの操作、画面表示
第2回	テキストを表示①	プログラムの構造、データの表示
第3回	テキストを表示②	WriteLineメソッド、Writeメソッド
第4回	変数とデータ型①	変数の初期化、整数型、浮動総数点型
第5回	変数とデータ型②	変数の初期化、ダイナミック型、型変換
第6回	変数とデータ型③	変数の初期化、オブジェクト型、ボックス型
第7回	演算子①	式と演算子、算術演算子、インクリメント
第8回	演算子②	関係演算子、論理演算子、代入演算子
第9回	制御文①	条件選択文、繰返し文、ジャンプ文
第10回	制御文②	Switch文、For文、While文
第11回	制御文③	do While文、goto文、break文
第12回	配列①	一次元配列、二次元配列の操作
第13回	配列②	三次元配列、ジャグ配列
第14回	クラスの基礎	クラス定義、new演算子、ドット演算子
第15回	期末試験の実施	期末試験の実施
第16回	期末試験振り返り	期末試験の解説と採点基準の確認

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	HTML/CSS演習		担当教員	石濱 友裕	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目は、HTML及びCSSを使ってホームページを作成できるようになることを目的として、代表的なタグの使用方法やCSSの基本文法を学ぶ</li> <li>・教科書の例題をもとに基本的な知識をインプットし、章末の演習問題にて知識のアウトプットを行うことで定着を図る</li> <li>・最終的に、自己紹介用のホームページを一から作成できることを目標とする</li> </ul>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	20 %
教科書	しっかり学ぶ HTML5+CSS標準テキスト			副教材および参考文献	なし		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス	授業概要説明/ホームページとHTMLの仕組み/環境構築
第2回	テキストの表示/画像の表示	テキスト要素/引用/様々な文字表現/画像表示
第3回	リンクの指定	リンクの指定方法/絶対パス・相対パス
第4回	CSSによる装飾	CSSの役割/CSS読み込み手順/背景・文字の装飾
第5回	リストを作る	箇条書きリスト/順序リスト/定義リスト
第6回	ファイルの埋め込み	様々なファイル(地図(PDF)/動画/音声)の読み込み
第7回	テーブルの表示	テーブルとは/テーブルの基本要素/整形
第8回	フォームの作成	フォームとは/テキストエリア/ラジオボタン/ボタン
第9回	カテゴリーとセクション	カテゴリーとは/アウトライン・セクション/ナビゲーション
第10回	ホームページデザイン	レイアウトとは/ページ全体の設定/要素を並べる
第11回	ホームページの装飾	色、図形、アニメーション
第12回	提出課題作成①	課題概要説明/ホームページの構成・デザインの検討
第13回	提出課題作成②	HTMLによるホームページのコンテンツ作成
第14回	提出課題作成③	CSSによるホームページのレイアウト作成
第15回	提出課題作成④	課題作成続き / 作成課題発表
第16回	演習課題まとめ	提出課題の講評/HTML・CSSに関する最新事情に関する講義

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	PHP演習		担当教員	石濱 友裕	クラス	高度情報処理科 2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この授業では、Webアプリケーションのサーバーサイド構築スキル習得を目的として、代表的なサーバーサイド言語であるPHPを学習する。PHPの基本的な文法の習得から始め、最終的に高度なWebアプリケーションを構築できるようになることを目標とする。演習はチーム形式で行い、生徒が相互に教えあえる環境で、全員のスキルの底上げを図る。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	20 %
教科書	PHP入門			副教材および参考文献		なし	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス	演習の進め方説明/環境構築
第2回	HTML概要	HTMLの基礎知識/CSSの基礎知識/演習
第3回	PHPの基礎 - 講義1	PHPの基本文法(型/変数)
第4回	PHPの基礎 - 講義2	PHPの基本文法(制御構造/配列)
第5回	PHPの基礎 - 演習	PHP基本文法に関する演習
第6回	DBの利用	DBとは/SQL文によるレコードの抽出/挿入/更新/削除
第7回	DBの利用 - 演習	SQL文に関する演習(SELECT, INSERT, UPDATE, DELETE)
第8回	予約システム構築 解説1	予約システム構築:トップページ/一覧ページ/詳細ページ
第9回	予約システム構築 演習1	トップページの実装/部屋一覧ページの実装
第10回	予約システム構築 演習2	部屋詳細ページの実装
第11回	予約システム構築 解説2	予約システム構築:予約状況確認・表示画面/予約画面
第12回	予約システム構築 演習3	空室確認/空室状況表示
第13回	予約システム構築 演習4	予約詳細入力画面/画面遷移と入力値チェック
第14回	予約システム構築 演習5	予約最終確認画面/予約完了画面
第15回	予約システム構築 演習講評	演習結果講評/各チームでの振り返り
第16回	予約システム構築 講義	予約システム構築:その他機能に関する講義

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	DBアプリケーション演習	担当教員	本郷 英明	クラス	高度情報処理科2年		
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	リレーショナルデータベースを基にデータベースの基礎知識、SQLなどを学ぶとともに実際のアプリケーション開発を行う上で必要となるデータベースの接続方法を学ぶ。授業を通し、データベースエンジニアとしての業務内容を理解することを目的とし、Accessを使用しながら理解を深めていく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	10 %	他	10 %
教科書	データベースとSQL	副教材および参考文献		課題プリント			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	授業概要 & DBの基礎	概要説明、データベースの基礎知識
第2回	データベースの基本	データとデータベース、DBの仕組み、DBの種類
第3回	データベースの運用管理①	データベース技術者の業務内容、運用管理
第4回	データベースの運用管理②	データベースのセキュリティ
第5回	リレーショナルデータベースの基本①	リレーショナルデータベースの基本、演算子の種類
第6回	リレーショナルデータベースの基本②	インデックス、正規化、トランザクション
第7回	データベース設計書①	データベース設計書の読み方と作成方法
第8回	データベース設計書②	インデックス、正規化、トランザクション
第9回	データベース設計書③	整合性制約、リレーションシップ
第10回	SQL基礎①	SELECT命令
第11回	SQL基礎②	SELECT命令の記述
第12回	SQL基礎③	INSERT命令、DELETE命令、UPDATE命令、JOIN命令
第13回	SQL基礎④	SQL記述
第14回	SQL基礎⑤	データベース定義
第15回	期末試験	期末試験の実施
第16回	期末試験振り返り	期末試験の解説と採点基準の確認

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	Word演習		担当教員	佐藤 智	クラス	高度情報処理科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	Microsoft Office Specialist Word 2016 の検定試験合格を目指すことを目的とする。 本試験はOffice2016の利用能力を証明する世界的な資格試験制度である。 Word2016を使用し、演習問題を中心に試験の出題範囲全般を網羅する。 後半は模擬試験を多く設定し、試験の合格につなげる。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	%	課題	%	他	100 %
教科書	よくわかるマスター Mos Word 2016			副教材および 参考文献		なし	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目ガイダンスと基本操作	概要説明、プログラムインストール、文章の作成と保存
第2回	文書の作成と管理	文書内で移動、文書の書式設定、表示調整
第3回	文書の作成と管理	マクロによる操作、文書保存の拡張設定、確認問題と解説
第4回	文字、段落、セクションの書式設定	文字列や段落の挿入、書式設定
第5回	文字、段落、セクションの書式設定	文章のグループ化、確認問題と解説
第6回	表やリストの作成	表の作成と編集
第7回	表やリストの作成	リストの使い方、確認問題と解説
第8回	参考資料の作成と管理	文字列の利用
第9回	グラフィック要素の挿入と書式設定	グラフィック要素の挿入、書式設定
第10回	グラフィック要素の挿入と書式設定	図形やSmartArtの使用、確認問題と解説
第11回	第1回模擬試験	第1回模擬試験と解説
第12回	第2回模擬試験	第2回模擬試験と解説
第13回	第3回模擬試験	第3回模擬試験と解説
第14回	第4回模擬試験	第4回模擬試験と解説
第15回	第5回模擬試験	第5回模擬試験と解説
第16回	Mos試験結果の振り返り	試験結果の解説と振り返り

# 2020年度 授 業 計 画

No.1

授業科目	プレゼンテーション演習	担当教員	一島健	クラス	高度情報処理科2年		
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目では言葉を介したコミュニケーションの基礎能力を高めることを目的とする。具体的にはプレゼンテーションをマインド、コンテンツ、デリバリーの3つの要素に分けて、各要素において演習を行っていく。マインドの分野では心持に重点を置き、自己肯定感も高めていく。デリバリーではWebでのコミュニケーションという時事も含めて演習を行う。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	30 %	課題	30 %	他	40 %
教科書	各単元で資料を配布			副教材および参考文献		PDF、プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	オリエンテーション	概要説明
第2回	コミュニケーション1	コミュニケーションについて学ぶ。準備。
第3回	コミュニケーション2	コミュニケーションについて学ぶ。実践。
第4回	マインド1	マインドについて学ぶ。準備。
第5回	マインド2	マインドについて学ぶ。レクチャー。
第6回	マインド3	マインドについて学ぶ。実践。
第7回	コンテンツ1	コンテンツについて学ぶ。作成のポイント。
第8回	コンテンツ2	コンテンツについて学ぶ。添削。
第9回	コンテンツ3	コンテンツについて学ぶ。実践。
第10回	デリバリー1	デリバリーについて学ぶ。トーク内容のレクチャー。
第11回	デリバリー2	デリバリーについて学ぶ。ボディランゲージのレクチャー。
第12回	デリバリー3	デリバリーについて学ぶ。実践
第13回	まとめ	まとめ、期末課題について
第14回	プレゼンテーション	発表、相互評価
第15回	プレゼンテーション	発表、相互評価
第16回	試験	期末試験の実施